

# くすりのしおり

内服剤

2017年05月改訂

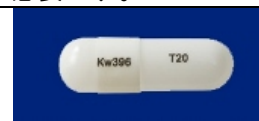
薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

## 商品名：テメラール配合カプセル T20

**主成分：**テガフル（Tegafur）  
ギメラシル（Gimeracil）  
オテラシルカリウム（Oteracil potassium）

**剤形：**白色のカプセル剤、長径約 14.6mm、短径約 5.4mm

**シート記載：**（表）テメラール配合カプセル T20 テメラール T20 20 Kw396 T20、（裏）  
Temeral T20 テメラール T20 20mg



## この薬の作用と効果について

体内でフルオロウラシル（抗がん剤）に変換され、その濃度を上昇させ抗腫瘍効果を高め、消化器毒性（副作用）を軽減します。

通常、胃がん、結腸・直腸がん、頭頸部がん、非小細胞肺がん、手術不能または再発乳がん、膵がん、胆道がんの治療に用いられます。

## 次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。骨髄抑制（白血球数などが少ない）、腎障害、肝障害、感染症、糖尿病、間質性肺炎または既往、心疾患または既往、消化管潰瘍または出血がある。フツ化ピリミジン系の薬からこの薬に変更になった。
- ・妊娠、妊娠している可能性がある、授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、成人は初回体表面積に合わせてテガフルとして 1.25m<sup>2</sup>未満では 40mg、1.25～1.5m<sup>2</sup>未満では 50mg、1.5m<sup>2</sup>以上では 60mg を基準として 1日2回朝食後と夕食後に 28日間連続で服用し、その後 14日間休みます。これを 1クールとして繰り返しますが、状態により適宜増減されます。増減量の段階は 1回 40mg、50mg、60mg、75mg とされており、1回 75mg が限度、最低服用量は 1回 40mg とされています。この薬は 1カプセル中にテガフルとして 20mg を含んでいます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・フツ化ピリミジン系の薬と絶対に一緒に飲んではいけません。
- ・服薬状況や、からだの状態、気づいた症状をメモしておき、診察時に医師または薬剤師に見せましょう。
- ・飲み忘れた場合は、次の服用時間に 1回分服用してください。絶対に 2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

## 生活上の注意

- ・この薬の使用中は、症状のあらわれない副作用を見つけるためにも、定期的（2週間に 1回以上）な臨床検査（血液、肝機能、腎機能検査など）が行われますので、受診日はできるだけ守ってください。

## この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、食欲不振、はきけ、嘔吐、下痢、体がだるい、口内炎、色素沈着、発疹、流涙などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・出血が止まりにくい、体がだるい、発熱、のどの痛み [骨髄抑制、溶血性貧血]
- ・皮膚が黄色くなる、体がだるい、白目が黄色くなる、食欲不振 [重篤な肝障害]
- ・下痢、激しい腹痛 [重篤な腸炎]
- ・息苦しい、発熱、から咳 [間質性肺炎]
- ・血が混じった便、黒色便、血を吐く、腹痛 [重篤な口内炎、消化管潰瘍、消化管出血、消化管穿孔]
- ・ひどい口内炎、赤い発疹、まぶたや眼の充血 [中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

## 保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局や医療機関に相談してください。

## 医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。